



消防千葉

2016 No.546 平成28年8月号

平成 28 年 8 月 1 日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財團法人千葉県消防協会会长 石橋 肇
TEL 043(263)9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



手賀沼（我孫子市・柏市）東葛飾支部

卷頭言

「安全安心を明日へとつなぐ」

松戸市消防局 消防局長 渡邊 仁志



松戸市は、都心から約20km圏、千葉県の東葛飾地域（北西部）の一翼に位置しています。西は江戸川を境に東京都葛飾区、埼玉県三郷市と接し、南は市川市、東は鎌ヶ谷市、東から北にかけて柏市、流山市と接しています。市域面積は61.38km²で、東西11.4km、南北11.5kmと、ひし形状のひろがりとなっています。平成27年3月にJR常磐線の品川方面への直通運転が実現し、首都圏の住宅都市としてますます便利に発展をとげています。

本市は、二十世紀梨発祥の地であり、市内を流れる江戸川には、伊藤左千夫の小説「野菊の墓」や歌謡曲でも有名な「矢切の渡し」があり、観光名所の一つになっています。また、第15代江戸幕府将軍徳川慶喜の実弟である水戸藩藩主であった徳川昭武公の別邸「戸定邸」は、平成18年7月に国の重要文化財に、「戸定邸園」は、平成27年3月に国の名勝に指定されました。伝統と歴史が息づく「住んでよいまち、訪ねてよいまち」に向けてまちづくりを進めています。

この魅力あるわがまちの安全・安心を確保するため、消防として発足以来60余年の間、消防力の強化、組織機能の近代化・効率化等を目指し、たゆまない努力を続けてまいりました。平成28年4月1日現在の松戸市消防局は、1局5課3方面本部10消防署、職員501名の組織体制を確立しております。

昨年の本市の火災発生件数は106件で、50年振りに110件を下回りました。このことは、火災予防行政の推進が火災発生件数減少の大きな要因であると認識しております。

今年度は、火災予防行政において重大な消防法令違反対象物に対する指導・是正の強化を図ってまいります。また、松戸市南部地域の災害活動拠点強化を目指し、平成31年度を目途に中央消防署の現地建て替えの計画を進めてまいります。あわせて現在6市で共同運用しております千葉北西部消防指令センターは、平成32年度の第2期整備において人口240万人規模に相応しい10市共同指令センター構築に向け準備を進めてまいります。救急行政については、救急件数増加に対応するため、本市の中央に位置する八ヶ崎消防署へ新たに1隊増隊配置し、平成28年4月から本市初の救急隊1署2隊の運用を開始しております。これにより、市民サービスの向上を始めとして、多面にわたる効果が期待できるところです。

消防行政を取り巻く環境は、近年著しく変化しており、地震災害や豪雨災害、テロ災害など災害の多様化・大規模化が危惧されることから大規模災害時に即応できる警防体制の充実・強化が求められています。

松戸市消防局では市民から消防に寄せる期待に応え、市民の安全で安心な生活環境を実現するため、消防力向上の歩みを止めることなく、全職員一丸となって邁進し続けてまいります。

第52回 市町村消防長・消防団長会議の開催

第52回市町村消防長・消防団長会議が鴨川市の鴨川グランドホテルで、県下各市町村から消防局長、消防長と消防団長等約150名の出席により7月7日・8日の2日に亘って開催されました。

7日の14時から本年度に新たに就任した消防（局）長9名、消防団長18名の計27名の紹介、小田山消防協会副会長の開会の言葉で始まり、石橋千葉県消防協会会長の挨拶、高橋千葉県副知事及び日本消防協会会長（代理秋山日消業務部長）の来賓祝辞の後、石橋協会会長の議長により千葉県消防協会、千葉県防災危機管理部、千葉県消防学校、日本消防協会から28年度の事業計画や訓練計画、行事予定、全国消防操法大会や日本消防協会の各共済事業等の説明がありました。

日本消防協会から今後の全国消防操法大会の開催方針が示され、平成30年度は富山県富山市、平成32年度は千葉県市原市で開催する。

また、平成29年度全国女性消防操法大会は秋田県秋田市で開催するとの発表がありました。

その後、「リスクウォッチ」の長谷川裕子氏による「千葉県消防団一ネクストステージ」と題する講演が行われました。



挨拶する石橋会長



高橋副知事の祝辞



日本消防協会秋山業務部長の祝辞

長谷川裕子講師は、平成2年国連大学に就職、平成3年アメリカ海軍横須賀消防隊予防課に就職、平成13年には日本消防協会講師、平成15年神奈川県消防学校講師、平成17年総務省消防大学校講師、平成19年横浜市危機管理セミナー講師、平成20年静岡県、愛知県等消防学校講師、平成24年フェリス女子学院講師など消防・防災等で活躍されており、平成25年アメリカ海軍横須賀消防隊予防課を退職後、平成26年「リスクウォッチ」を設立されました。

講演では、前米海軍日本管区司令部消防隊予防課長としての「消防団リーダー危機管理リーダーシップの条件」と題して在日米海軍司令部の実例をたくさん紹介され、大変わかりやすい講演でした。

特に「クリビング」という救助技術の紹介では、今回の講演で使用するため、クリビングで使用する角材をわざわざホームセンターで調達して頂き、この角材を使用してステップ1、ステップ2、ステップ3など順次実技をしていただき、アメリカで開発された救助スタイルをご指導していただきました。



夜には、浜本防災危機管理部長、亀田県議会議員、長谷川鴨川市長等の出席を得て、交流会が盛大に行われました。



石橋会長



浜本防災危機管理部長



長谷川鴨川市長



亀田県議会議員

第52回 千葉県消防操法大会の開催

(平成28年7月23日、於千葉県消防学校)

千葉県と（公財）千葉県消防協会が主催（後援（公財）日本消防協会）する第52回千葉県消防操法大会が、7月23日（土）千葉県消防学校において盛大に開催されました。

大会中は大変涼しい天気となり、県内の消防関係者や応援の家族等を含め約2,000名が参加、県内の各支部（10支部）から厳しい予選を勝ち抜いてきた、ポンプ車操法の部12チーム、小型ポンプ操法の部12チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。

会場の消防学校のグラウンドには、各出場チームのテントが立ち並び、必勝祈願の幟旗が翻って、応援団も盛り上がってきました。



入場行進

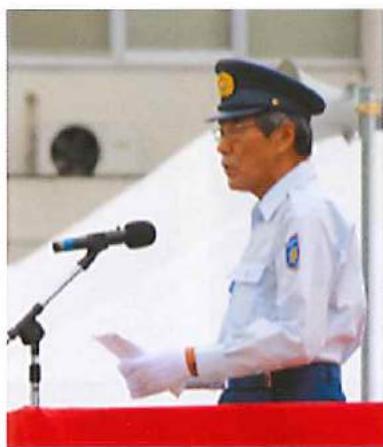


原総指揮者

午前9時、出場団員の入場行進が始まり、原久男千葉支部長の総指揮者宣言による整列の後、小田山博史協会副会長の開会のことば、国旗掲揚、殉職者に対する黙とう、表彰旗返還等の後、大会名誉会長森田健作千葉県知事、大会会長石橋毅千葉県消防協会会长から挨拶がありました。



森田千葉県知事



石橋消防協会会长



宇野県議会議長

宇野裕県議会議長、志賀直温市長会会長及び岩田利雄町村会会长からの来賓祝辞、倉田消防協会最高名誉顧問等からの祝電披露の後、成田市消防団立石法大指揮者から出場団員代表宣誓が行われ、消防操法の競技が開始されました。

各消防団から持ち込まれたポンプ車及び小型ポンプによる操法競技が開始され、各消防局、消防本部から選抜された審査員が厳しく審査する中、各チームの指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで、技の速さ、正確さを競い合い、会場からはそれぞれ自分の団のチームに対し、盛大な歓声が上がっていました。



選手宣誓

ポンプ車 操法競技



小型ポンプ 操法競技



高校生を対象とした 消防活動1日体験講座を初めて開催

県消防課では、平成28年7月17日（日）、銚子市の千葉科学大学のマリーナキャンパスにおいて、高校生を対象とした「消防活動1日体験講座」を千葉科学大学と共同で、初めて開催しました。

本講座は地域防災を担う若い世代の消防活動に対する理解や将来的な消防職員・団員の確保につなげようとするもので、県内各地から33名の高校生（定員30名）が参加しました。

当日は、銚子市内の災害遺産を見学しながら、過去の災害の歴史を学んだほか、千葉科学大学の学生消防隊のみなさんによる「学生消防隊の紹介」や消防課職員による「消防士の仕事・消防団ってなあに？」と題する講演が行われました。



その後、学生消防隊による災害救助演習を見学し、学生消防隊員の指導により防火衣を身にまとつての「放水体験」、同大学救急救命学コースの学生の指導による「AED体験」なども行われました。

更に、同大学の藤本教授をコーディネーターとして、現役消防士との座談会を実施し、消防活動に関する様々な疑問について、活発な意見交換が行われました。

講座終了後には、修了証書を授与、最後に記念撮影を行い閉講となりました。



わが町の消防団 ① 千葉市消防団

1 千葉市消防団の歴史

千葉市消防団は、昭和22年5月1日に政府が発した消防団令を受けて千葉市消防団設置条例が制定され、従来の「千葉市警防団」が「千葉市消防団」に改組されたことによりスタートしました。さらに翌昭和23年に消防組織法が施行され、「千葉市消防本部」及び「千葉市消防署」が設置されたことに伴い、常備消防と分離し新しい消防団組織として生まれ変わりました。

この時、消防団員の条例定数は1,055名でしたが、以後、町村合併により旧町村の消防団を吸収したことで組織が拡大した結果、昭和30年には定数が1,574名にまで増加したものの、昭和30年代後半から常備消防の充実、社会構造の変化等により、条例定数の削減が行われ、昭和58年に現在の840名となりました。



2 新しい取り組み

「消防団を中心とした地域防災力の充実強化に関する法律」及び「消防団の装備の基準」更に「消防学校の教育訓練の基準」の改正等を踏まえ、大規模災害時の消防団の対応力を強化するために、平成27年2月に総務省消防庁より、救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車を無償貸付され、花見川区方面隊第5分団1部に配置、更に平成28年3月に救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車を購入し、若葉区方面隊第12分団2部に配置しました。今年度も同型の車両を若葉区方面隊第13分団6部に配置する予定です。

全国的に消防団員は減少し、地域防災力の低下が危惧されているところであり、本市においても消防団員が減少する等の課題を抱えています。

そのような中、消防団への入団を促進し、更なる消防団の充実強化を図るため、消防団活動で一定の実績を収めた大学生等に、本市がその功績を認めて証明書を交付し、公的にその功績を認証することにより、就職活動において積極的に評価されることを期待する「千葉市学生消防団活動認証制度」を平成28年1月1日から開始しています。

更に、市内の事業所や店舗などの皆様に「消防団応援の店」として登録していただき、消防団員証の提示により、消防団員やその家族等にポイントの優遇や割引等のサービスを提供していただく「千葉市消防団応援事業所制度」を平成28年4月1日に県内では初めて取り組みました。



3 今後の千葉市消防団

千葉市消防団は平成28年4月1日現在、原 久男消防団長以下774名（男性593名・女性181名）1団・6方面隊・18分団・76部の体制で活動しておりますが、条例定数840名に対して団員数が66名不足している現状に加え、今後も、高齢化等により団員数が減少していくことが推測されることから、新入団員の確保が喫緊の課題となっております。そこで、入団促進キャンペーンを実施するほか、新たな施策の導入を検討するなど、その対策を模索している状況です。

今後、千葉市消防団は常備消防と両輪で、組織・装備のさらなる充実強化を図り、「安全・安心のまちづくり」を進めて参りたいと考えております。



わが町の消防団 ② 館山市消防団

館山市は、房総半島南端に位置し、年間平均気温は16℃以上と冬でも花が咲き誇る温暖な気候に恵まれた「花のまち」です。また、34.3キロの変化に富んだ海岸線を持ち、マリンスポーツや海水浴の適地として知られる「海のまち」でもあります。

戦国武将里見氏が治めていたこの地は、曲亭馬琴作の「南総里見八犬伝」の舞台として有名で、里見氏や八犬伝ゆかりのロマン香る史跡が数多く残されています。

館山市民4万8千人の財産・生命を守る館山市消防団は、団員350人。石井利明団長の指揮の下、9分団24個部が編成され、日夜市民の安全安心のために活動しています。



『～災害時の備えを～』

館山市消防団では、火災に備えた訓練はもとより、風水害や地震など近年多発する災害発生時の活動を念頭に置き、各地区自主防災組織と合同での防災訓練も積極的に行ってています。また、小学校での防災訓練に参加するなど、子どもたちの防災教育にも一役買っています。

現在の課題は、今後いつ何時起きるか分からない大規模災害の発生時に消防団はどう活動すべきか、団員同士でも議論

しているところです。近年、日本各地で大規模災害が発生しています。大地震や風水害、土砂災害など、自然災害の被害は甚大なものとなります。

大規模災害の被害は想像し難いため、被災地での視察研修を行うなど、現場の生の声を聞くことが大切です。災害の恐ろしさや対応すべきことなど身を持って知り、消防団活動に役立てています。

館山市消防団は、今後も日頃の訓練により災害に備え、市民の安全安心を守っていきます。



東南西北

東 西
南 北
松戸市消防局

松戸市消防局は、平成 28 年 3 月 2 日、消防訓練センターにて車両火災研修を実施しました。研修は、講義と実車を使用した実験の 2 部構成で実施し



ました。講義では、車両火災を調査するにあたり必要となる自動車の構造から、火災現場における対応、車両本体の見分要領について学びました。実車を使用した実験では、高温の排気系統に漏れた油脂類や、エンジンルームに置き忘れたウエスなどの可燃物が触れて出火する様子を確認することができました。



東 西
南 北
松戸市消防局

松戸市消防局では、平成 28 年 3 月 3 日（木）、4 日（金）の 2 日間で、市内に開設された六高台水素ステーションにて、運営会社である株式会社 ENEOS 水素サプライ & サービスの協力を得て、施設を確認しました。



運営会社の担当から水素ステーションの概要及び当該施設の設備の構造を中心に説明を受け、火災、漏洩事故時等の対応について確認しました。



施設確認を実施した職員からは、水素ガスの特性として、危険物と異なり視覚、嗅覚で存在を確認することが困難なため、運営会社の担当を交えて、災害活動上の留意事項等について積極的な意見交換が行われました。

東 西
南 北
印西地区消防組合 白井消防署

印西地区消防組合白井消防署では、3 月 3 日、4 日の 2 日間、春の全国火災予防運動の一環として管内の高齢者福祉施設 3 施設において、火災図上訓練（FIG）を実施しました。

この訓練は、高齢者福祉施設において、職員配置の少ない時間帯である夜間に発生した火災を想定し、避難限界時間の中で、多くの入所者をいかに安全に避難誘導することができるかという点に主眼を置き訓練を実施しました。

訓練に参加された施設職員の方々からは、消防計画内の夜間対応マニュアルの見直しの必要性や、消防隊への情報提供資料作成の提案など多くの意見が出され、防火・避難訓練の PDCA サイクルのきっかけとなる有意義な訓練となりました。



東西南北 柏市消防局 交通救助事案に対する研修会を実施

◆日時：平成 28 年 3 月 5 日（土）

◆会場：メタルリサイクル株式会社千葉営業所

◆主催：柏市消防局 ◆参加人員：30 人 ◆参加車両：4 台

◆主な内容：救助器具取扱い要領

柏市消防局では、市内にある自動車リサイクル業者の協力を得て、交通救助事案に対する研修会を行った。この研修会は、救助隊員の中から現場経験年数の浅い隊員を対象に救助活動技術の更なる向上のため実施。研修会は、リサイクル業者から提供された実車両を使用し、車両のガラス破壊、ドア開放要領、想定訓練として立体駐車場から転落し大破した車両からの救出要領、自動車リサイクル業者職員によるエアバック展開時の危険度の説明やハイブリッド車の事故時対応要領の説明等、若年層の救助隊員にとって貴重な体験となった。



東西南北 千葉市消防局 消防活動用無人偵察システムの配備

大規模災害時等において、上空から人命検索などの情報収集活動を実施するため、画像伝送装置や複合ガス検知器等を積載した消防活動用無人偵察システム（ドローン）が、消防組織法第 50 条に基づく国有財産



の無償使用資機材として、平成 28 年 3 月に総務省消防庁から配備されました。

これに伴い、平成 28 年 3 月 14 ~ 16 日の 3 日間、機体製造業者の訓練施設において、改正航空法や機体の操作方法などの座学をはじめ、訓練用ドローンを使用した取扱い訓練を実施しました。

今後は、災害現場を想定した実戦的な習熟訓練を行い、操作精度の向上を図り本格的に運用したいと考えております。

東西南北 千葉市消防局 聞き手に伝わる！アナウンス研修



千葉市消防局では、平成 28 年 3 月 16 日、17 日、将来を担う若手職員を対象に「アナウンス研修」を実施しました。

わたしたち消防士は、市民の皆様に役立つ情報を解りやすく伝えるため、「話し上手」になる必要があります！



話し方講師として多数の実績があり、元 NHK アナウンサーの相澤静講師による、話している姿を動画で撮影し、自分自身を客観的に見つめることから講義がスタート。口の開き方や滑舌のトレーニング、わかりやすい文章の構成の仕方などを学んだあと、アナウンスの実践とフィードバックを繰り返し、最後にもう一度話している姿を動画で撮影すると、1日の成果が一目瞭然！充実した研修となりました！

終了後、参加した職員からは、「この研修で学んだことを早速実践する。」といった明日からの強い意気込みが聞かれました。今後は、この職員たちにフォローアップ研修「わかりやすく、伝わる・伝える消防広報の実践のために」を実施し、しっかり育成する予定です。

東西北 南 寄贈高規格救急車配置式について
松戸市消防局



松戸市消防局は宗教法人自由宗教一神会 代表役員 深見照一様から高規格救急自動車の寄附を受け、平成28年3月30日松戸市八ヶ崎消防署にて配置式を実施しました。同署において救急車は2台配置となり、平成28年4月1日より松戸市消防局11隊目の救急車として運用を開始しています。近年高齢化社会の進展等により救急需要が増加傾向にあるため、救急隊増隊による市民サービスの向上が期待されます。



東西北 南 市川市消防局指導機関員任命式
市川市消防局

本市消防局では、平成28年4月1日より、「市川市消防局指導機関員の任命等に関する基準」を施行し、機関員として長年にわたる努力と優れた知識、技術があるものと認めた職員を「指導機関員」として任命しました。

これは、消防機関員に係る技術の伝承を強化し、優れた機関員を養成することで消防業務の推進を図ることを目的としたものです。

また、平成28年4月5日に市川市消防局指導機関員任命式を行いました。



東西北 南 女性パワー全開！～新たに2つの防災拠点が設立～
千葉市消防団

千葉市消防局では、平成28年4月1日千葉市緑区のおゆみ野・椎名地区に、新たな防災拠点として、2つの消防団が設立されました。

特に、第15分団5部（おゆみ野）は部長以下11名及び第15分団6部（椎名）も班長以下6名が女性団員となることから、女性特有のソフトな面を生かした救急救護活動や大規模災害



時の避難誘導活動、予防広報活動等が期待されています。

これにより千葉市消防団の組織は1団6方面隊18分団76部体制で消防団員数774名になりました。



4月24日と26日には、セーフティいちばにおいて辞令交付式及び新部発足式が行われ、全員が原消防団長から、直接辞令の交付を受けるとともに、訓示をいただきました。

日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成28年8月

- 8月19日 防火・防災ポスター表彰式（千葉県庁）
- 22日 石油コンビナート等防災訓練（市原市）
- 27日 第37回九都県市合同防災訓練（茂原市）



平成28年度 全国統一防火標語
「消しましょう その火その時 その場所で」

平成28年度
夏の交通安全運動
 7月10日(日)から7月19日(火)
 スローガン
 ~ゆっくりと マナーを乗せて ふむペダル~

<表紙の説明>

手賀沼（我孫子市・柏市）東葛飾支部

我孫子市のシンボルである手賀沼。湖畔の手賀沼公園は、芝生で遊ぶ家族や釣り、ランニングを楽しむなどで賑わい、市民の生活に欠かせない場所となっています。

現在、手賀沼の水質は、ヨットやカヌーで遊べるほど改善されています。手賀沼トライアスロンや日本最大級の鳥の祭典「ジャパンバードフェスティバル」などのイベントが開催されています。また、手賀沼のほとりは、大正時代、多くの文人たちに親しまれ、嘉納治五郎や白樺派の柳宗悦、志賀直哉、武者小路実篤、国際ジャーナリストの杉村楚人冠などが集まり、互いの夢をこの地で語り合いました。その跡地は今も残り、往時をしのばせる史跡として観光スポットとなっています。



記事の訂正について

平成28年6・7月号の表紙及び14ページ、本佐倉城跡（酒々井町）印旛支部と記載すべきところ（佐倉市）と記載誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

